

# 令和8年度 佐賀市立高木瀬小学校 教育課程

## 1 学校教育目標

全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力(主体性・当事者意識・確かな学力)を育む

## 2 本年度の重点目標

「自分で考え、自分で決めて、自分から行動する」

## 3 重点取組内容

### (1)学習指導の充実

#### ○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- ・主体的な学習者の育成を目標に、全教科・全領域で「学習課題(A・B・C)」を設定し、児童自らが、見通しをもって学習に臨むように授業者は児童の学びを指導・支援する。
- ・個々人の能力や個性に応じた学び方を尊重し、有益な他者との協働的な学習を推奨する。
- ・授業者は、授業・学級を日常的に開き、授業力の向上を図る。

#### ○家庭学習の改善・充実

- ・家庭学習の目的を児童・家庭と共有し、可処分時間や家庭学習を自分自身でマネジメントできるように発達段階や個人差に応じた指導・支援を行う。

#### ○タブレットPCスキルの向上

- ・タブレットPCを有効な学習ツールの一つとして、積極的に授業で活用する。
- ・家庭学習で慣れ親しむよう試行錯誤を進めると共に学習の補充や発展など個に応じた学習で活用を勧める。

### (2)生徒指導の充実

#### ○生徒指導提要の「発達支持的生徒指導」の具現化を図るために伴走支援に努める。

- 全ての子ども達を対象に
- 未然対応を重視
- 教育活動全体を通して

毎月の「こころのアンケート」の実施と対応  
年2回のWEB-QU実施と分析  
教育相談週間の設定  
日常的な観察、保護者連携・支援

#### ○自己決定能力育成を目指し、カウンセリングマインド・伴走支援で対応する。

#### ○市民性を育む「ルールシンキング」の取組みを支える。

「伴走支援 1・2・3」

#### ○「命」「人権」「法律」を規準とする行動様式の思考を促す。

1. どうしたの？
2. あなたはどうしたい？
3. 手伝えることはある？

#### ○援助希求能力の育成を図る。

#### ○校内教育支援センター「にこにこルーム」を中心に、不登校・登校しぶりの児童のエンパワーメントを高める伴走支援に努める。

### (3)特別支援教育の充実

- 「自立」と「社会参加」を見据えた「個別の支援教育、個別の指導計画」の作成及び活用。
- 一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程の作成と実施。不断の見直し。
- 持てる力を最大限に高める「自立活動をはじめとする教育内容の創造」